



第1学年 通学路清掃について

7月14日（金）に第1学年の生徒たちが通学路清掃を実施しました。

各クラス2班編成で、8か所の分担地域の清掃を2時間目の時間帯で行いました。

生徒たちは、日頃利用している通学路にも、見えないところにゴミが捨てられている実態を目の当たりにしながら、通学路をきれいに保つことへの意識付けが十分にできたと思います。

1 清掃箇所の状況について

「きれいであった。」という報告の一方で「すごくきたなかった。」という報告も相当数ありました。これは、担当箇所によって状況に差があったことが原因と思われます。

ゴミの状況については、「意外にタバコの吸い殻が多かった。」、「お菓子の袋が多かった。」、「草むらにゴミが捨てられていた。」というように、本校生徒以外のポイ捨ての状況も垣間見ることができました。

2 通学路清掃で感じたこと

生徒たちの意見をいくつか紹介します。

「地域の人が笑顔で返事をしてくれて、とてもいい気持ちになりました。ゴミがたくさんあったので、定期的に行うことで、ゴミが無くなり、捨てる人も捨てるづらくなると思います。」(M1 生徒)

「アスファルトには、あまりゴミがなく、草があるところにゴミが集まることがわかった。草があるところに看板を立てたり、その

部分をきれいに見せることで、ゴミを捨てにくくすることが大事だと思いました。」

(E1 生徒)

「タバコのポイ捨てが多かった。一部の人大だろうけれど、マナーが悪いという印象を受けた。しかし、思ったよりもゴミは少なく、汚いなという印象はあまり受けなかった。」

(I1 生徒)

「普段、自分が通っている道や、その周辺の道にたくさんゴミが落ちていることがショックだった。また機会があれば、通学路やその周辺の清掃を行いたい。」(P1 生徒)

今年度は、蒸し暑かったこともあり、「暑かった」、「疲れた」といった意見が例年よりも多かったように思いました。

3 今後の実施について

28年度	またやりたい	やりたくない
1年	79	53
	60%	40%

29年度	またやりたい	やりたくない
1年	117	37
	76%	24%

また実施したいかという問いに対し、昨年度大幅に数字が下降しましたが、今年度はやや回復しました。